

消防 出初式

新春に誓おう “火の用心”

新春恒例の町消防団出初式が、一月八日に、横芝中校庭で行われました。

当日は三百五十名の消防団員、

消防署員・少年消防隊員及び三十二台の消防車両が参加。多数の来賓が見守る中、通常点検・ポンプ操法・部隊教練・分列行進などが整然と行われ、五十九年の消防活動の幕開けにふさわしい、盛大な出初式となりました。

また、多年にわたって消防活動に貢献・協力された次の方々に対して、表彰状や感謝状が贈られました。

(敬称略)

■千葉県知事表彰
【功労章】 斉藤実 【精勤章】 鈴木孝一・実川実・桜井譽司則・菅澤晃光

■山武支庁長表彰
伊藤芳範・伊藤修・前川正行・伊東正紀・市原志朗

■千葉県消防協会長表彰

【功労章】 武田憲佳・鈴木滋明
【精勤章】 鈴木勲・斉藤孝夫・向後隆敏・伊藤雅章・田村泰久

■千葉県消防協会山武支部長表彰

【功労章】 実川隆・太智博代
【精勤章】 伊藤勉・鈴木重男・小川正明・田辺秀雄

■町長表彰

【優良分団部表彰】 第三分団第三部(鳥喰上・新田) / 第五分団第五部(坂田) 【無火災表彰】 第五分団第六部(谷台) / 四十年間無火災 / 第四分団第二部(古川) / 五十年間無火災

■消防団長表彰

【特別功労章】 実川武男・早川明成・川島元・伊藤信幸・斉藤順一・渡辺栄・布施雅治・八角茂・平山幸央・伊藤嘉範・柳橋武行・土屋弘美 【功労章】 早川重利・佐瀬喜久男・越川勇・

宇井基雄・小川俊・飯塚勇・伊藤直志・大木穂積・宇都木亨・伊藤重利・海保辰美・行木光男・印東彦治・椎名富士雄・高宮清・土屋源司・早川一郎・嘉瀬義夫・越川幸雄・小関啓一・実川一・宇井康郎・伊藤淳・寺田稔・栗真一・柳橋茂雄・伊藤一良

■町長感謝状

【消防施設等協力者】 日本コーティング(株)・菅沢淳・佐久間忠雄・実川宏・鈴木泰治・和知博信

■消防団長感謝状

【内助の功】 斉藤富美江 【消防活動協力者】 大木義雄・市原康男・平山清

不起訴には11人の審査の目 検察審査員 候補者決まる

検察官が事件を起訴しなかつたこと(不起訴処分)のよしあしを審査する、検察審査会の審査員候補者に、当町から次の方々がクジにより選ばれました。

- 〈敬称略〉
- 【第一群】▽海保利枝(立会)
 - ▽早川辰之(屋形荒場)
 - 【第二群】▽加藤藤枝(栗山四)
 - ▽内生藏淑子(南部一)
 - ▽西谷俊子(東町)
 - 【第三群】▽若林優子(四五会)
 - ▽小川豊(鳥喰新田)
 - ▽伊藤清(上町)
 - 【第四群】▽小関廣子(古川)
 - ▽浅野昇(曾根合)
 - ▽菱木ふみ(木戸台)



普及型「コーナー」

現在、山武地域の稲

作は機械移植栽培が主体です。田植作業を省き、更に省力化するための直まき栽培は、試験的には今まで何回か試みられましたが、発芽不良や雑草など問題点が多く、実用化には至りませんでした。

しかし、最近開発された「たん水土壤中直まき栽培」は発芽・苗立ちを安定化させ、倒

「水稲たん水土壤中 新技術 直まき栽培」

伏を少なくすることによって、収量が安定化してきたことから注目されています。

1—発芽率が向上

カルパー(過酸化石灰)を種もみにコーティング(粉衣)して土壤中には種すると、徐々に分解して酸素を放出し、発芽率を向上させ、苗立ち歩合を安定させます。

2—良好な苗立ち

は、種機でたん水状態の土壤中に、種子を一定の深さ(1cm)にまくことにより、乾田直まきでの転び苗の発生や、

収穫時期に起こる稲の倒伏が防げるようになります。

3—除草問題も解決

除草剤サンバード粒剤によって、直まきにおける除草問題がほぼ解決しました。

※現在、技術的な問題もあって、各地で試験や試作が行われていますが、その成績の一部をご紹介します。

栽培成績

| | |
|-------------|-------|
| ▶57年・県農業試験場 | |
| ハヤヒカリ | 532kg |
| ハヤヒカリ | 543kg |
| ハヤヒカリ | 560kg |
| 初星 | 559kg |
| ▶58年・東金市 | |
| コシヒカリ | |
| T氏 | 415kg |
| N氏 | 500kg |

迅速な動作のポンプ操法

